

海軍公報 (部内限) 第二千八百四號

昭和十三年一月六日(木)

海軍大臣官房

○ 辭 令

横須賀海軍工廠附屬命令
朝山主任部附海軍技手 蛭川 研造

(各通)

遞信書記官 新谷 寅三郎
海軍大佐 松岡 龍雄
陸軍主計少尉 齋藤 壯一

海軍省事務ヲ囑託ス(以上駐坤ニ海軍省)
勅任 宗像 久敬

海軍省事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス(同)
海軍技術會議議員海軍少佐 井上 憲一
海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス(同)

補水路部部員
膠州乘組海軍技師 桑 原 新

(各通)

勝力乘組海軍技手 平田 柳市
膠州乘組同 田中 作次
同 松田 啓

水路部附ヲ命ス

水路部附兼勝力乘組海軍技手 山口 清
兼勝力乘組ヲ免ス

(各通)

勝力乘組同 廣田 廣太郎
膠州乘組同 関塚 良治
勝力乘組同 諸岡 直巳
同 浦井 鎮吾

水路部附ヲ命ス(同)
海軍機關中佐 北野 通俊
兼テ在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(駐坤ニ海軍航空本部)

○ 雜 款

○將旗移揚
第五水雷戰隊司令官ハ一月五日將旗ヲ一時長良ヨリ三日月ニ移揚シ同日長良ニ復歸セリ
○郵便物發送先

海軍公報(部内限) 第二千八百四號 昭和十三年一月六日

海軍公報(部内限) 第二千八百四號 昭和十三年一月六日

第二航空戦隊司令部、軍艦蒼龍宛

當分の間

第二十九驅逐隊(追風、疾風)宛

自今

横須賀
佐世保局留置

第三十驅逐隊(陸月、卯月、彌生、如月)宛

自今

佐世保局氣付

○艦船所在

▲印ハ、ハ、ホ、フ
指定ヲ要セズ

○一月六日午前十時調

【横須賀】 對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、夕張、

▷八雲▲、高雄、山城、那珂、▷長門、春日、

▷蒼龍、□陸奥、▷五十鈴、□鳥海、摩耶、

鳳翔▲

沖風、□夕立▲、五月雨、村雨、春雨、

□白露、時雨、有明、夕暮▲、□隴、曙、潮、

□天霧▲、朝霧▲、夕霧▲

伊七▲、伊三▲、伊四、□伊六

富士▲、尻矢、知床

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】 太刀風、帆風、夕風、□松風、春風、朝風、

旗風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、

呂五九▲、呂五八、呂六六、□伊一、伊二、

伊五

【石川島】 羽風▲

【浦賀】 秋風▲

(霞)▲

【館山】 澤風▲

【大湊】 巨波風、野風、神風、沼風

【函館】 大泊▲

【吳】 矢矧、韓崎、比叡▲、扶桑▲、伊勢▲、加古、

衣笠、青葉、長鯨▲、▷熊野、三隈、鈴谷、

日向、鬼怒、▷神通、▷大井、淀、最上

夕顔、矢風、□若竹、吳竹、早苗、□菊、

葵、萩、□初雪、白雪、吹雪、□白雲、東雲、

薄雲、叢雲、□浦波、磯波、敷波、綾波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲、

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、□呂三四、

呂三三、□伊五三、伊五四、□伊五七、

伊五六、伊五八、□伊七〇、伊六八、

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

伊六九、伊五五

海軍公報(部内限) 第二千八百四號 昭和十三年一月六日

金剛▲▷由良、▷名取、▷川内▲▷迅鯨、
羽黒、那智、北上、駒橋、沖島

梨▲竹▲榧▲桃▲柳▲檜▲董▲▷夕風、
朝風、▷文月、水無月、長月、早月、▷初霜、

若葉、子日、初春、▷山風、海風、江風、
涼風、▷大潮、朝潮、滿潮、

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、▷呂六三、呂六八、

呂六五、▷呂六七、▷伊六一、伊六二、
伊六四、▷伊六五、伊六六、伊六七、

伊六三、伊五九、伊六〇、
▷千鳥、初雁、友鶴、真鶴

掃一八▲

敷島▲襟裳、鶴見、間宮、洲崎、鳴戸

(夏雲)▲(伊七四)▲

【長崎】(利根)▲

【鎮海】▷華、楡

【作業地】▷出雲、▷天龍、龍田、▷妙高、多摩、▷安宅、

嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
二見、▷木曾、▷長良、▷神威、白鷹、

▷足柄、嚴島、▷球磨、▷能登呂、勝力、
▷加賀、龍巖

栗、榊、蓮、▷雷、電、響、▷曉、狹霧、漣、

▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、夕月、望月、
三日月、▷薄、葛、藤、▷蓼、菱、蓬、

▷島風、灘風、汐風、▷睦月、卯月、彌生、
如月、▷疾風、追風、柿、峯風

▷伊三一、伊三二、▷伊二三、伊二四、
▷鶴、鴨、鴻、隼

▷掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
▷掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、

▷朝日、膠州、佐多、早鞆、室戸、野島

(辭令公報添)

海軍公報(部内限)第二千八百五號

昭和十三年一月七日(金)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第五五號

昭和十三年一月七日

海軍大臣

内令提
要登載

各鎮守府司令長官殿

召集中ノ豫後備役下士官兵服役延期ノ件

訓令

支那事變ニ關シ召集中ノ豫備役、後備役ノ下士官及豫備兵、後備兵ニシテ服役期間滿了シ第一國民兵役ニ入ルベキ者ハ召集解除ノ日迄其ノ服役ヲ延期スル義ト心得ベシ

官房第二八號

艦營需品定額表中數量左ノ通定ム

昭和十三年一月七日

海軍大臣

運用長 主管

海軍公報(部内限)第二千八百五號 昭和十三年一月七日

艦船名	類別	備品	
		數	品番
戰艦、練習戰艦 赤城、加賀	三	個	其應急要 甲 一
巡洋艦、航空母艦 赤城、加賀、除ク、 水上機母艦、潜水	二	個	同 乙
海防艦、高崎、劍	二	個	同 丙
母艦、駒橋、除ク、 海防艦、高崎、劍	一	個	同 丁
駒橋、沖島、嚴島、 八重山、白鷹、勝	一	一	一
力、砲艦、驅逐艦、 水雷艇、掃海艇、 特務艦(高崎、劍)	一	一	一
埼、朝日、攝津	一	一	一
除ク)			

記事

○通牒

軍需燃第一號

昭和十三年一月六日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

航空揮發油ニ「アルコール」混用ニ關

スル件通牒

寒地ニ於テ航空揮發油ヲ使用スル場合ハ凍結防止ノ爲
當分ノ間左記ニ依リ「アルコール」ヲ混合使用相成度

記

氣	溫 (C)	「アルコール」混 合割合容積%
〇度ー(一)二〇度		三
(一)二〇度以下		五

海人機密第一號ノ三

昭和十三年一月七日

海軍省人事局長

各鎮守府參謀長殿

召集中ノ豫後備役下士官兵服役延期ニ關ス

内令提
要登載

ル件通牒

本年官房機密第五五號訓令召集中ノ豫後備役下士官兵
服役延期ノ件ハ昭和十二年十月一日以降ニ遡リ適用セ
ラルモノト御承知相成度

經豫第三號ノ三七四

昭和十二年十二月三十日

海軍省經理局長

各關係廳長
各契約擔任官

輸入證明書ニ關スル件照會

自今本年經豫第三號ノ二九五ニ依ル首題ノ件様式中
「三 輸入者住所氏名」ノ欄ニ申請書番號ヲモ記入相
成度

經豫第三號ノ一

昭和十三年一月六日

海軍省經理局長

各支出官殿

日本銀行代理店ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ大藏省理財局長ヨリ左記ノ通牒有
之候

記
理秘第五七五號

昭和十二年十二月二十七日

大藏省理財局長 關原 忠三

海軍省經理局長 村上春一殿

國庫金竝政府有價證券ヲ取扱フ日本銀行代理店ヲ今般
中華民國石家莊ニ設置シ昭和十三年一月一日ヨリ同地
方ニ關係ヲ有スル官廳ノ事務ノミニ限リ取扱ハシムル
コトト相成候ニ付此段及御通牒候也
追而本件ハ官報ニ告示ノ手續ヲ採ラサルニ付御含置
相成度

水機密第三〇七七號

昭和十二年十二月二十八日

水路部 長

各廳長殿

參謀本部發行秘規則適用(軍事秘密)陸圖
ノ件通牒

昭和十二年軍務二機密第一三〇七號(十月十五日日本欄
參照)ヲ以テ申進相成タル首題圖誌ノ處理方左記ノ通
御取計相成度

記

一、貸與中ノ秘陸圖(海軍省文庫ヨリ既配付ノモノヲ
含ム)ハ用済後速ニ水路部ニ還納ノコト
二、毀損亡失等ニ因リ還納不能ノモノニ對シテハ水路
圖誌及航空圖誌經理規程第十三條ニ準ジ手續ヲ行フ
コト但シ事由書ハ水路部長宛トス

水機密第三〇七七號ノ二

昭和十二年十二月二十八日

水路部兵備品會計官吏

各廳兵備品取扱主任殿

參謀本部發行秘陸圖ノ件通知

首題圖誌ハ昭和十二年內令第七百號ヲ以テ水路圖誌材
料品ト定メラレ水路部兵備品會計官吏之ヲ貸與致スベ
キニ付所要ノ向ハ直接同官吏宛請求相成度
追而今次事變關係ノ秘陸圖ハ佐世保鎮守府文庫ニ若
干準備シアリ右ハ多量ヲ送付シ置クコト困難ニ付緊
急必要ナル場合ニ御利用相成様致度

○ 辭 令

海軍中佐 小西 康雄

恩賜研學資金受賞者餘額委員ヲ命ス(前海軍省)

海軍公報(部内限) 第二千八百五號 昭和十三年二月七日

<p>○特務艦知床行動豫定</p> <p>地名 着</p> <p>横須賀 一月十四日 發 一月十二日</p> <p>神戶 一月十五日 發 一月十四日</p> <p>吳保 一月十七日 發 一月十六日</p> <p>佐世 一月十七日 發 一月十九日</p>		<p>○特務艦隱戸行動豫定</p> <p>地名 着</p> <p>吳保 一月八日 發 一月八日</p> <p>德山 一月十一日 發 一月十日</p> <p>佐保 一月十四日 發 一月十二日</p> <p>吳保 一月十四日 發 一月十四日</p> <p>(此ノ間沖村、廣、吳間行動)</p> <p>德山 一月二十二日 發 一月二十二日</p> <p>佐保 一月二十五日 發 一月二十四日</p> <p>德山 一月二十八日 發 一月二十七日</p> <p>佐保 一月三十一日 發 一月三十日</p>	
<p>○特設運送船朝光丸行動豫定</p> <p>地名 着</p> <p>西戸崎 一月四日 發 一月四日</p> <p>佐保 一月八日 發 一月七日</p> <p>舞鶴 一月十二日 發 一月十四日</p> <p>佐保 一月十六日 發 一月十八日</p> <p>馬世公 一月二十一日 發 一月二十三日</p>		<p>○雜款</p> <p>海軍特務少尉 森田 順吾(佐通)</p> <p>(各通) 海軍機關兵曹長 石井 藤吉(大通)</p> <p>昭和十二年官房機密第四一〇〇號訓令高速度通信裝 置實驗委員附ヲ命ス(以上訪海軍艦政本部)</p> <p>海軍中佐 森川 章(佐通)</p> <p>同 北澤 眞吉(佐廠)</p> <p>同 高原 久衛(艦本)</p> <p>(各通) 海軍少佐 櫻 義雄(通校)</p> <p>同 三品 伊織(軍令)</p> <p>同 山口 博(大通)</p> <p>海軍造兵大佐 宮澤 竹藏(艦本)</p> <p>昭和十二年官房機密第四一〇〇號訓令高速度通信裝 置實驗委員ヲ命ス</p>	

<p>高 雄 二十三日 佐 保 二十九日 吳 世 二十五日</p> <p>二月 二十四日 二月 四日</p>	<p>○郵便物發送先 特務艦知床宛</p> <p>一月十一日迄ニ到達見込ノモノハ 横 須 賀 同 十五日迄ニ 同 吳 世 保 同 十八日迄ニ 同 佐 世 保 同 二十日迄ニ 同 吳 世 保 同 二十二日迄ニ 同 神 戸 其ノ後ハ 横 須 賀</p>	<p>特務艦隱戸宛</p> <p>一月十一日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保 同 二十一日迄ニ 同 吳 世 保 同 二十六日迄ニ 同 佐 世 保 同 二十九日迄ニ 同 德 山 二月 一日迄ニ 同 佐 世 保</p>	<p>特務艦佐多宛</p> <p>二月二十五日迄ニ「古倫母」到達見込ノモノハ 神戶中央郵便局氣付(軍艦郵便) 三月二十二日迄ニ到達見込ノモノハ 德 山 其ノ後ハ 佐 世 保 備考 軍艦郵便ニテ發送ノ期間ハ機密文書ノ發送</p>
<p>ヲ嚴ニ差控ヘラレ度</p>	<p>◎事務開始 高雄海軍航空隊(假稱)設立準備委員事務所ヲ高雄海軍通信隊内ニ設置シ十二年十二月二十八日ヨリ事務ヲ開始セリ</p>	<p>○殘務整理 第二防備隊ノ殘務整理ハ佐世保防備隊内ニ於テ之ヲ行フ</p>	

海軍公報(部内限)第二千八百五號 昭和十三年一月七日

○艦船所在

△印ハハハホシノ
指定ヲ要セズ

○一月七日午前十時調

【横須賀】 對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、夕張、

▽八雲▲、高雄、山城、那珂、▽長門、春日、

▽蒼龍、▽陸奥、▽五十鈴、白鳥海、摩耶、

鳳翔▲

沖風、▽夕立▲、五月雨、村雨、春雨、

▽白露、時雨、有明、夕暮▲、▽隴、曙、潮、

▽天霧▲、朝霧▲、夕霧▲

伊七▲、伊三▲、伊四、▽伊六

富士▲、尻矢、知床

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】▽太刀風、帆風、夕風、▽松風、春風、朝風、

旗風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八、呂六六、▽伊一、伊二、

伊五

【石川島】 羽風▲

【浦賀】 秋風▲

(霞)▲

【館山】 澤風▲

【大湊】▽波風、野風、神風、沼風

【函館】 大泊▲

【吳】 矢矧、韓崎、比叡▲、扶桑▲、伊勢▲、加古、

勝力、衣笠、青葉、長鯨▲、▽熊野、三隈、

鈴谷、日向、鬼怒、▽神通、▽大井、淀、最上

夕顔、矢風、▽若竹、吳竹、早苗、▽菊、

葵、秋、▽初雪、白雪、吹雪、▽白雲、東雲、

薄雲、叢雲、▽浦波、磯波、敷波、綾波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、▽呂三四、

呂三三、▽伊五三、伊五四、▽伊五七、

伊五六、伊五八、▽伊七〇、伊六八、

伊六九、伊五五

▽雄、雁、鳩、鷺

攝津、隱戸

(千歳)▲、(千代田)▲

【大阪】 古鷹▲

(山雲)▲、(峯雲)▲

【神戸】▽伊七二、伊七三▲、呂六四▲

(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】 常磐▲

石廊▲

【江田内】 平戸、淺間

【舞鶴】 吾妻▲

荒潮

伊五二▲

(叢)▲

【佐世保】 赤城▲、磐手▲、八重山、榛名、▽霧島▲

海軍公報(部内限) 第二千八百五號 昭和十三年一月七日

金剛▲▽由良、▽名取、▽川内、▽迅鯨、
 羽黒、那智、北上、駒橋、沖島
 梨▲竹▲榧▲桃▲柳▲檜▲董▲▽夕風、
 朝風、▽文月、水無月、長月、皐月、▽初霜、
 若葉、子日、初春、▽山風、海風、江風、
 涼風、▽大潮、朝潮、滿潮、
 呂三〇▲▲呂三一▲▲呂三二▲▲呂六〇▲▲
 呂六一▲▲呂六二▲▲▽呂六三、呂六八、
 呂六五、▽呂六七、▽伊六一、伊六二、
 伊六四、▽伊六五、伊六六、伊六七、
 伊六三、伊五九、伊六〇
 伊千鳥、初雁、友鶴、真鶴
 敷島▲襟裳、鶴見、洲崎、鳴戸
 (夏雲)▲(伊七四)▲
 【長 崎】(利根)▲
 【鎮 海】柿、楡
 【作業地】▽出雲、▽天龍、龍田、▽妙高、多摩、▽安宅、
 嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
 二見、▽木曾、▽長良、▽神威、白鷹、
 ▽足柄、嚴島、▽球磨、▽能登呂、▽加賀、
 龍巖
 栗、梅、蓮、▽雷、電、響、▽曉、狹霧、漣、
 ▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、夕月、望月、
 三日月、▽薄、葦、藤、▽蓼、菱、蓬、
 伊島風、灘風、沙風、▽陸月、卯月、如月、

彌生、▽疾風、追風、峯風、▽葦
 伊二一、伊二三、▽伊二三、伊二四
 伊鴻、鵲、鴨、隼
 伊掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
 伊掃一六、掃二三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 朝日、膠州、佐多、早鞆、室戸、野島、間宮

(辭令公報添)

海軍公報 (部内限) 第二千八百六號

昭和十三年一月八日(土)
海軍大臣官房

○通牒

經契第三號ノ一九三一

昭和十二年十二月二日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

海軍航空機用ヂュラルミン材等購買合

併契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通契約締結致候條別紙ニ依リ處理相成度
(別紙一葉添)

艦本機密第一七九號

昭和十三年一月八日

海軍艦政本部長
海軍省軍務局長
海軍省軍需局長

各鎮守府參謀長
第一、二艦隊參謀長 殿

海軍公報(部内限) 第二千八百六號 昭和十三年一月八日

試製罐水試驗器貸與艦變更ノ件通牒

一月九日艦本機密第三〇八號通牒(昭和十二年一月十一日海軍公報「部内限」參照)首題試驗器貸與艦ノ一部ヲ左記ノ通變更致候ニ付可然取計相成度
追テ舊貸與艦ノ分ハ要スレバ工廠ニ於テ修理ノ上新貸與艦ニ交付ノコトニ取計フ可ク候ニ付一應工廠ニ返却方取計相成度

記

橫須賀	舊貸與艦	新貸與艦
吳	山城、高雄	摩耶、烏海
佐世保	扶桑、最上	鈴谷、熊野
若葉	羽黒、初春、子日、初霜	川内、海風、江風、山風、涼風

○辭令

(各通)

海軍大佐 犬塚 惟重
海軍少佐 扇 一登
海軍大尉 信谷 正一
海軍軍事普及部委員ヲ命ス
海軍中佐 長谷 眞三郎

思想調査委員會委員ヲ命ス(以上尙海軍省)

○ 雜 款

○司令水雷艇變更

第一水雷隊司令ハ一月六日司令水雷艇ヲ鵠ヨリ鴻ニ變更セリ

○書類發送先

當隊今次特別任務ノ爲各艦分離行動中郵便物ハ自今左記ニ依リ御送付ヲ得度
追而司令宛ノ書類ニシテ各艦ニ關係アルモノハ寫一通各艦宛御送付相成度

記

司令宛ノモノ
隊機關長宛ノモノ
軍醫長、主計長宛ノモノ

薄 葛 藤

(第十五驅逐隊)

○正誤

一昨六日辭令欄中海軍技手蛭田研造ノ辭令文ハ衍

(別紙)

品名	契約者	契約要領
海軍航空機用デュラルミン材	株式会社日本アルミニウム製造所	昭和十二年十二月一日經契第三號ノ一七〇九別紙ト同様ナリ、但シ品種ハ大板、小板、帯板及棒ノミトス
海軍航空機用四十匹 匹 デユラルミン材	古河電氣工業株式会社 株式会社神戸製鋼所	昭和十二年十二月一日經契第三號ノ一七一〇別紙ト同様ナリ、但シ品種ハ大板、小板、帯板及棒ノミトス
海軍航空機用鋼片鋼棒(角材、丸棒、六角棒)	特殊製鋼株式会社 東京鋼材株式会社	昭和十二年十二月一日經契第三號ノ一七三二別紙ト同様ナリ 六角棒ハ規格 ノミトシ
住友金屬工業株式会社	昭和十二年七月一日經契第三號ノ一七三二別紙ト同様ナリ、但シ丸棒、角材ハ規格イ4イ5イ12イ13イ14イ28ノミトシ六角棒ハ之ヲ除ク	
株式会社神戸製鋼所	昭和十二年十二月一日經契第三號ノ一七三二別紙ト同様ナリ、但シ丸棒、角材ハ規格イ4イ5ノミトシ六角棒ハ之ヲ除ク	

(昭和十三年一月八日公報(部内限)別紙)

○艦船所在

△印ハ「ハ」ホ「フ」
指定ヲ要セズ

○一月八日午前十時調

【横須賀】

對馬△、愛宕△、阿武隈△、大鯨△、夕張、
八雲△、高雄、山城、那珂、長門、春日、
蒼龍、陸奥△、五十鈴、鳥海、摩耶、
鳳翔△

沖風、夕立、五月雨、村雨、春雨、
白露、時雨、有明、夕暮、朧、曙、潮、
天霧△、朝霧△、夕霧△

伊七△、伊三△、伊四、伊六

富士△、尻矢、知床

(飛龍)△(劍埼)△(高崎)△

【長浦】

太刀風、帆風、夕風、松風、春風、朝風、
旗風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△、
呂五九△、呂五八、呂六六、伊一、伊二、
伊五

【石川島】

羽風△

【浦賀】

秋風△

(霞)△

【館山】

澤風△

【大湊】

波風、野風、神風、沼風

【函館】

大泊△

【吳】

矢矧、韓崎、比叡、扶桑、伊勢、加古、

勝力、衣笠、青葉、長鯨△、熊野、三隈、
鈴谷、日向、鬼怒、神通、大井、淀、最上、
夕顔、矢風、若竹、吳竹、早苗、萩、
葵萩、初雪、白雪、吹雪、白雲、東雲、
薄雲、叢雲、浦波、磯波、敷波、綾波、
呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△、
呂二八、伊五一△、伊七一△、呂三四、
呂三三、伊五三、伊五四、伊五七、
伊五六、伊五八、伊七〇、伊六八、
伊六九、伊五五

伊雄、雁、鳩、鷺

攝津、隱戸

(千歲)△(千代田)△

【大阪】

古鷹△

(山雲)△(峯雲)△

【神戸】

伊七二△、伊七三△、呂六四△

(朝雲)△(伊八)△(伊七五)△

【相生】

常磐△

石廊△

【江田内】

平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻△

荒潮

伊五二△

(霞)△

【佐世保】

赤城△、磐手△、八重山、榛名、霧島△

海軍公報(部内限) 第二千八百六號 昭和十三年一月八日

金剛▲、▷由良、▷名取、▷川内、▷迅鯨、
 羽黒、那智、北上、駒橋、沖島、
 梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、蓮▲、▷夕風、
 朝風、▷文月、水無月、長月、皐月、▷初霜、
 若葉、子日、初春、▷山風、海風、江風、
 涼風、▷大潮、朝潮、滿潮、
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
 呂六一▲、呂六二▲、▷呂六三、呂六八、
 呂六五、▷呂六七、▷伊六一、伊六二、
 伊六四、▷伊六五、伊六六、伊六七、
 伊六三、伊五九、伊六〇、
 千鳥、初雁、友鶴、真鶴、
 敷島▲、襟裳、鶴見、洲崎、鳴戸、
 (夏雲)▲(伊七四)▲

【長崎】(利根)▲
 梶、楡

【鎮海】
 【作業地】▷出雲、▷天龍、龍田、▷妙高、多摩、▷安宅、
 嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
 二見、▷木曾、▷長良、▷神威、白鷹、
 ▷足柄、嚴島、▷球磨、▷能登呂、▷加賀、
 龍巖

栗、榊、蓮、▷雷、電、響、▷曉、狹霧、漣、
 芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、夕月、望月、
 三日月、▷薄、葛、藤、▷蓼、菱、蓬、
 ▷島風、灘風、沙風、▷陸月、卯月、如月、

彌生、▷疾風、追風、峯風、▷葦、
 ▷伊二一、伊二三、▷伊二三、伊二四、
 ▷鴻、鵠、鴨、隼、
 ▷掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
 ▷掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八、
 ▷朝日、膠州、佐多、早鞆、室戸、野島、間宮

(別紙一葉、辭令公報系)

海軍公報 (部内限) 第二千八百七號

海軍大臣官房

昭和十三年一月十日(月)

○ 令 達

官房第六〇號

昭和十一年官房第五四〇四號中左ノ通改正ス

昭和十三年一月十日

海 軍 大 臣

第一號中 「土耳其國海軍大尉 シエレフ、カラビナル」

ヲ 「土耳其國海軍少佐 ゼキ、エンウエル」ニ改ム

第二號中海軍大學校ノ項終業月日ノ欄「昭和十三年十一月下旬」ヲ「昭和十三年九月下旬」ニ改ム

(参照) 昭和十一年官房第五四〇四號ハ、土耳其國海軍學生海軍諸學校ニ於テ修業ノ件ナリ(昭和十一年十一月二十日海軍公報(部内限))

○ 通 牒

官房機密第九六號

昭和十三年一月十日

海 軍 次 官

關係各廳長殿

昭和十三年度文官任用有資格者保有員數及技術囑託保有員數ニ關スル件申進

首題ノ件別表ノ通定メラレ候但シ之ガ實行ハ左記ニ依ルモノト御承知相成度

記

- 一、現ニ別表保有員數ヲ超過セルモノハ任官、退職等ニ因リ本員數以下トナル迄文官任用有資格者(高等工業學校又ハ同程度以上ノ學校ヲ卒業セル囑託、技生及工員ヲ謂フ)ハ之ヲ採用セザルモノトス
- 二、特種事由ニ依リ本保有員數ヲ超過シテ文官任用有資格者ヲ必要トスルトキハ海軍艦政本部長、海軍航空本部長、水路部長、海軍省軍需局長及建築局長ハ關係各廳ノ者ニ付海軍省人事局長ト協議ノ上採用ス

ルコトヲ得

(別表添)

官房機密第九七號

昭和十三年一月十日

海軍省 副官

各廳長 殿

氣象臺測候所ニ於ケル觀測成果ノ發表

ノ件通知

首題ノ件ニ關シ別記ノ通通知有之候ニ付部下一般ニ周知方可然取計相成度

(別記)

祕發第三四號

昭和十二年十二月二十日

中央氣象臺長 岡田 武松

海軍省軍務局長 殿

軍機保護法施行規則中ニテ除外セラレタル氣象臺測候所ニ於ケル觀測成果ノ發表ニ就テハ取締ニ遺漏ナキ様致度貴省軍務局當事者ト別記事項打合別紙寫ノ通全國各測候所へ通牒セルニ付爲念此段申進ム

祕發第三四號

昭和十二年十二月二十日

中央氣象臺長 岡田 武松

測候所長 殿

曩ニ制定セラレタル軍機保護法施行規則中ニテ除外セラレタル氣象臺測候所等ニ於ケル觀測成果ノ發表ニ就テハ同法ノ精神ニ則リ深甚ノ注意ヲ拂フベキ次第ナルニ依リ爾今別記ノ方針ヲ以テ善處セラル、様致度ク陸海軍當事者ト協議ノ上此段及通牒候也

別記

一、帝國ノ領土附近ノ霧、視程、雲高、雲厚及地上百米以上ノ空域ニ於ケル氣流、溫度若ハ濕度ノ實況ノ器具機械ヲ以テセル觀測結果及其ノ統計表、統計圖等ハ總テ公表セザルコト、ス但シ其ノ觀測結果ヲ地域ニ無關係ナル學術的問題ノ研究ニ利用シタルモノニ於テハ絕對ニ地域ノ明示ヲ避ケテ公表スルハ差支ナシ、此場合ニ於テモ材料ノ發表ニ類スルモノハ之ヲ避クベキコト
二、左記地域ノ氣象要素ノ統計表、統計圖及其ノ敘述ハ總テ公表セザルモノトス
地 域

恒春、臺東、高雄、臺南、澎湖、臺中、彰化、石
 垣島、那霸、名瀨、佐世保、富江、吳、濱松、横須
 賀、八丈島、館山、所澤、宮津、田名部、函館、室
 蘭、帶廣、釧路、網走、幌筵、本斗、真岡、落合、
 敷香、安別、蔚山、大邱、濟州、平壤、城津、雄
 基、旅順、パラオ、サイパン、バガン、ポナペ、ヤ
 ルート、トラツク

以上四十四箇所

尙南洋諸島ニ於テ今後測候所ガ増設セラル、トモ是
 等ニ對シテハ總テ本項ノ制限ヲ適用スルモノトス

三、前號四十四箇所ニ對シテモ氣壓、氣温及降水量ノ
 月平均値年平均値ニ限リ發表差支ナキコト

神宮神部署頒布曆中ノ氣象表ハ在來ノ通り掲載差支
 ナキコト

四、右第一號及第二號ニ示シタル公表セザル諸成果ハ
 之ヲ祕密文書トナシ或ハ祕密印刷トナシ限ラレタル
 方面ニ充分ナル祕密保持ノ注意ノ下ニ配布スルハ差
 支ナシ其ノ配布方面ハ概ネ左記ノ如クス

- 一、氣象ニ關係アル官公署
- 二、氣象ニ關係アル陸海軍部局部隊、艦船
- 三、航空關係其ノ他必要ナル理由明ニシテ豫メ認可

ヲ得タル公私人團體等

五、前號第一、第二ノ配布箇所表ハ豫メ中央氣象臺ニ
 報告シ置クモノトス

前號第三ノ文書ノ配布ヲ要スルモノニ就テハ文書名
 及事由ヲ具シ當該氣象臺支臺、測候所長ノ意見ヲ副
 ヘテ中央氣象臺長ノ承認ヲ申請スベシ申請書ニ於テ
 ハ特ニ外國關係ニ就テノ調査書ヲ添付スベシ

六、配布文書祕拔ハ概ネ次ノ要領ニ據ルベシ

- 一、文書印刷ノ際ハ内容ノ漏洩ヲ防ギ特ニ餘部又ハ
 校正刷等ノ殘存ナキ様注意スルコト
- 二、該祕密文書ハ赤色等ノ目立ツ表紙ヲ用フルコト
- 三、文書ニハ番號ヲ附シテ配布シ其ノ番號附文書ノ
 所在ヲシテ常ニ明瞭タラシムルコト
- 四、次ノ如キ祕拔心得ヲ該文書ヲ附記シ置クコト
 - (一) 本文書保管ニ就テハ責任者ヲ定メ内容ノ漏洩ヲ
 防グコト
 - (二) 錠前アル容器ニ保管シ紛失等ナキ様注意スルコ
 ト
 - (三) 時々検査シテ其ノ安全ヲ確カムルコト
 - (四) 紛失等ノ際ハ回収ニ努ムルト共ニ直ニ届ケ出ツ
 ルコト

(五)部外ニハ見セヌコト
(六)文書ノ寫ハ絶對ニ作ラヌコト

○ 辭 令

海軍省事務ヲ囑託ス
正四位勳三等 川越 丈雄

但シ報酬年額九千六百圓ヲ給シ部内限勅任官待遇
トス(前海軍省)

(各通)
海軍中佐 岡 恆 夫
海軍少佐 黒川 善 喜

第二課勤務ヲ命ス
海軍大尉 牛尾 義 隆

第二課兼第一課勤務ヲ命ス(以上前水路部)
海軍技師 桑 原 新

○ 雜 款

○司令水雷艇變更
第一水雷隊司令ハ一月九日司令水雷艇ヲ鴻ヨリ鵠ニ變
更セリ

昭和十三年度技術賜託保有員數

左側ハ高等官待遇 右側ハ判任官待遇トス

1377

(別表第一)

部 應	總務部	會計部	砲兵部	砲兵系				水雷航海系			無線電氣系		造船系		造機系		航空系					燃料廠	計																												
				火工	爆藥	製鋼	理火砲 (砲研)	理光砲 (砲研)	化鋼 (鋼研)	二水雷 (水雷部)	造雷 (水雷部)	魚雷 (水雷部)	航 (水雷部)	三電氣 (電氣部)	造電池 (電氣部)	四造船 (造船部)	船 (造船部)	五造機 (機研部)	理機 (機研部)	一飛行 (航空課)	發機 (航空課)			二兵 (兵器課)	科 (科學)	飛 (飛行)																									
艦本			1	8																					11	32																									
航本																										3	7																								
技研							2	4	2	6			1	3			2	12			2	5		1	2			10	32																						
火廠	0	1	1	4	1	4																					4	13																							
横廠	0	1	2	7			1	3			1	8	2	4	1	4	2	10	1	4	2	7		1	8	1	2			14	58																				
吳廠	1	2	1	25	1	8	1	7	1	4	1	2	1	11	1	6			1	13	1	5	2	7	1	5	1	10			14	105																			
廣廠	0	1																										1	9			3	20			4	30														
佐廠	0	1	1	6																																6	56														
舞廠	0	1	1	1																																	4	14													
空廠																																						6	20	9	16	8	22	7	12	0	4			30	74
燃廠																																									5	6	5	6							
合計	1	7	10					93				11		54				12	60			13	36		7	48			37											5	6	105	427								

(昭和十三年一月十日公報(部内限)別表)

昭和十三年度文官任用有資格者保有員數
(艦政本部及航空本部系)

(水路部、軍需部系)
(燃料廠、建築系)

部 應	總庶會 務計	砲 類 係					水雷航海系		造船系		造機系		航 空 系					計															
		砲 類	火 爆	製 鋼	理 火 砲 研 實	化 鋼 研 實	水 雷 部	造 雷 部	四 造 部	船 船 研 實	五 造 部	理 機 研 實	一 飛 航 行 空 課	發 動 機 課	二 兵 課	科 學	飛 賞																
艦本		2	12				3	12			5	6	1	9				15	48														
航本															1	6	3	6	4	12													
技研					3	6	3	9			1	4		3	17			3	7	2	3	15	46										
火廠	0	1	1	6	1	6					3	6									5	19											
橫廠	0	2	3	10			2	11	2	5	1	6	3	15	1	7	3	11	2	12	2	4	20	88									
吳廠	1	3	2	45	1	10	1	10	1	6	1	3	1	17	2	10			20	1	9	3	12	2	8	2	17	19	170				
廣廠	0	2																1	13			5	30					6	45				
佐廠	0	2	1	8										1	11							2	31					8	88				
舞廠	0	1	1	2										1	4													4	21				
空廠																						9	30	14	26	12	34	11	17	0	5	46	112
合 計	1	11	26				144	14		80	14	95	19	57	11	77	57					185	142	649									

部 別	員 數	計
水 路 部	一 課 1* 2 二 課 1 7 三 課 1 9 四 課 1* 4 五 課 1* 4	5 26
軍 需 部	橫 須 賀 1* 1* 吳 1* 1* 佐 世 保 1* 1* 舞 鶴 0 1*	3 4
燃 料 廠	研 究 部 3 6 製 油 部 1* 3 採 炭 部 1* 2 鑛 業 部 1* 1	6 12
建 築 系	建 築 局 2 10 橫 須 賀 3 15 吳 3 11 佐 世 保 2 10 舞 鶴 1 3	11 49

(備考) (一) (二) *ハ必要ニ應ジ置キ得ルモノヲ示ス
各系總員數ヲ超過セザル限各系ニ於テ各應間ニ彼此流用スルコトヲ得

○艦船所在

▲印ハ、ホフ
指定ヲ要セズ

○一月十日午、前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、夕張、

▷八雲▲、高雄▲、山城▲、那珂▲、▷長門▲、春日、

▷蒼龍▲、口陸奥▲、▷五十鈴▲、口鳥海▲、摩耶、

鳳翔▲

▷夕立▲、五月雨▲、村雨▲、春雨▲、▷白露、

時雨、有明▲、夕暮▲、▷龍、曙、潮、▷天霧、

朝霧、夕霧

伊七▲、▷伊一▲、▷伊六▲

富士▲、尻矢、知床、膠州

(飛龍)▲、(劍崎)▲、(高崎)▲

【長浦】

▷太刀風▲、帆風▲、夕風▲、▷松風▲、春風▲、朝風、

旗風、沖風

呂五四▲、呂五五▲、呂五六▲、呂五七▲、

呂五九▲、呂五八▲、呂六六▲、伊二、伊三、

伊四、伊五

【石川島】

羽風▲

【浦賀】

秋風▲

(霞)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

▷波風▲、野風▲、神風▲、沼風

【函館】

大泊▲

【吳】

矢矧▲、韓崎▲、比叡▲、扶桑▲、伊勢▲、加古、

勝力、衣笠、青葉、長鯨▲、▷熊野、三隈、

鈴谷、日向、鬼怒、▷神通、▷大井、淀、最上、

夕顔、矢風、▷若竹、吳竹、早苗、▷菊、

葵、萩、▷初雪、自雪、吹雪、▷白雲、東雲、

薄雲、叢雲、▷浦波、磯波、敷波、綾波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲、

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、▷呂三四、

呂三三、▷伊五三、伊五四、▷伊五七、

伊五六、伊五八、▷伊七〇、伊六八、

伊六九、伊五五

▷雄、雁、鳩、鷺

攝津

(千歲)▲、(千代田)▲

古鷹▲

(山雲)▲、(峯雲)▲

【神戸】▷伊七二▲、伊七三▲、呂六四▲

(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

石廊▲

【江田内】

平戸、淺間

【徳山】

隱戸

【舞鶴】

吾妻▲

荒潮

伊五二▲

海軍公報(部内限)第二千八百七號 昭和十三年一月十日

【佐世保】

赤城▲、磐手▲、八重山、榛名、▽霧島▲、
 金剛▲、▽由良、▽名取、▽川内、▽迅鯨、
 羽黒、那智、北上、沖島
 梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▽夕風、
 朝風、▽文月、水無月、長月、▽若葉、初霜、
 子日、初春、▽山風、海風、江風、涼風、
 ▽疾風、追風、▽大潮、朝潮、滿潮、皁月、
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
 呂六一▲、呂六二▲、▽呂六三、呂六八、
 呂六五、▽呂六七、▽伊六一、伊六二、
 伊六四、▽伊六五、伊六六、伊六七、
 ▽伊六三、伊五九、伊六〇
 ▽千鳥、初雁、友鶴、眞鶴
 敷島▲、襟裳、鶴見、鳴戸
 (夏雲)▲、(伊七四)▲

【長崎】

【鎮海】

【作業地】▽出雲、▽天龍、龍田、▽妙高、多摩、▽安宅、
 嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
 二見、▽木曾、▽長良、▽神威、白鷹、
 ▽足柄、嚴島、駒橋、▽球磨、▽能登呂、
 ▽加賀、龍驤
 栗、榊、蓮、▽雷、電、響、▽曉、狹霧、漣、
 ▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、夕月、望月、
 三日月、▽薄、蕩、藤、▽蓼、菱、蓬、

▽島風、灘風、汐風、▽陸月、卯月、如月、
 彌生、峯風、▽葦、楡
 ▽伊二一、伊二二、▽伊二三、伊二四
 ▽鶴、鳩、鴻、隼
 ▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
 ▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 ▽朝日、佐多、早鞆、室戸、野島、間宮、洲崎

(別表添)

海軍公報 (部内限) 第二千八百八號

昭和十三年一月十一日(火)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一一六號

昭和十二年官房機密第五〇三八號ニ依リ昭和十三年度ニ於テ採用スベキ各種練習生ノ員數中左ノ通改正ス

昭和十三年一月十一日

海軍大臣

表中普通科電信術ノ部徴兵ノ項ヲ左ノ如ク改ム

徴兵	
前期	後期
二九〇	一八〇
二一〇	一三〇
二二〇	一四〇
七二〇	四五〇

(昭和十二年十二月七日日本報参照)

官房第八九號

艦營需品定額表中數量左ノ通改正ス

昭和十三年一月十一日

海軍大臣

運用長 主管

海軍公報 (部内限) 第二千八百八號 昭和十三年一月十一日

艦船名	類別	番號	品名	數稱	備品	
					個	個
戰艦 (金剛ヲ除ク)					二四	三
金剛、比叡						三
青葉型、古鷹						三
妙高型、高雄型 (鳥海ヲ除ク)					一八	三
加古					二〇	三
鳥海						三
最上、三隈						三
天龍型						二
球磨型、長良型、川内型					九	二
艦船名						
類別						
番號						
品名						
數稱						
個						
個						
索纜						
槌						
記						
事						

海軍公報(部内限) 第二千八百八號

昭和十三年一月十一日

二四

能登呂、長鯨、沖島	迅鯨	駒橋	勝力、嚴島	八重山、白鷹	勢多、堅田、比良、保津	二見、熱海	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
一〇	一〇	五	二	七	一	六	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三																		

艦母空航	龍	鳳翔、龍驤、蒼	赤城、加賀	長良型、川内型	天龍型、球磨型	最上型、青葉型	古鷹型、高雄型	妙高型、高雄型	戰艦、練習戰艦	艦船名	數	品名	番號	類別	消耗品		運 用 長 主 管	海 軍 大 臣	官房第九〇號	艦營需品定額表中數量左ノ通定ム	昭和三十二年一月十一日	二等驅逐艦、水雷艇、掃海艇	五	二	
															米	三									麻索(六種)
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	米	三	麻索(六種)	一四	鬚付	八										
二〇	二五	一五	二〇	二五	二五	二五	二五	二五	二五	記	事														

水上機母艦 潜水母艦(駒橋ヲ除ク)	一〇〇〇	一五	
駒橋、救設艦	一〇〇〇	七	
海防艦	一〇〇〇	一五	
砲艦	一〇〇〇	七	
一驅 峯風型、神風型	一〇〇〇	七	
二驅 吹雪型、初春型	一〇〇〇	一〇	
三等艦 白露型、朝潮型	一〇〇〇	七	
二等驅逐艦、水雷艇 掃海艇、特務艦(高崎、 高崎、朝日、播磨ヲ除ク)	一〇〇〇	七	
高崎、劍崎、朝日、攝津	一〇〇〇	一五	

○ 辭令

海軍少將 佐藤 脩
 第四艦隊司令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス(第海軍省)
 (各通) 大谷 彌十次
 島 一郎
 海軍省事務ヲ囑託ス
 但シ報酬年額千八百圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス

○ 雜款

陰山 金四郎
 海軍省事務ヲ囑託ス
 但シ報酬年額五千四百圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス
 (各通) 土屋 計左右
 加藤 謙一
 第三艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス
 濱野 眞
 第三艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス(以上同前)
 海軍特務少尉 木村 源吾
 第一課勤務ヲ命ス(第海軍省軍需局)
 ○司令驅逐艦變更
 第二十二驅逐隊司令ハ一月十日司令驅逐艦ヲ文月ヨリ長月ニ變更セリ
 ○郵便物發送先
 驅逐艦荒潮宛
 自今 佐世保

海軍公報(部内限) 第二千八百八號 昭和十三年一月十一日

○艦船所在

△印ハ、ホ、ホフ
指定ヲ要セズ

○一月十一日午前十時調

【横須賀】 對馬△、愛宕△、阿武隈△、大鯨△、夕張、

▷八雲△、高雄、山城、那珂、▷長門、▷蒼龍、

▷陸奥△、▷五十鈴、▷鳥海、摩耶、鳳翔△

▷夕立、五月雨△、村雨、春雨、▷白露、

時雨、有明△、夕暮△、▷隴、曙、潮、▷天霧、

朝霧、夕霧

伊七△、▷伊一△、▷伊六△

富士△、尻矢、知床、膠州

(飛龍)△(劍埼)△(高崎)△

【長浦】▷大刀風、帆風、夕風、▷松風、春風、朝風、

旗風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△

呂五九△、呂五八、呂六六、伊二、伊三、

伊四、伊五

【石川島】 羽風△

【横濱】 春日

【浦賀】 秋風△

(霞)△

【館山】 澤風△

【大湊】▷波風、野風、神風、沼風

【函館】▷大泊△

【吳】 矢矧、韓崎、比叡△、扶桑△、伊勢△、加古、

勝力、衣笠、青葉、長鯨△、日向、鬼怒、

▷神通、▷大井、淀、最上

夕顔、矢風、▷若竹、吳竹、早苗、▷菊

葵、萩、▷初雪、自雪、吹雪、▷白雲、東雲、

薄雲、叢雲、▷浦波、磯波、敷波、綾波

呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△

呂二八、伊五一△、伊七一△、▷呂三四、

呂三三、▷伊五三、伊五四、▷伊五七、

伊五六、伊五八、▷伊七〇、伊六八、

伊六九、伊五五

▷雄、雁、鳩、鷺

【大阪】 古鷹△

(千歳)△(千代田)△

【神戸】▷(山雲)△(峯雲)△

▷伊七二△、伊七三△、呂六四△

(朝雲)△(伊八)△(伊七五)△

【相生】 常磐△

石廊△

【江田内】 平戸、淺間

【長濱沖】▷熊野、三隈、鈴谷

【舞鶴】 吾妻△

荒潮

伊五二△

(霞)△

海軍公報(部内限) 第二千八百八號 昭和十三年一月十一日

【佐世保】

赤城▲、磐手▲、八重山、榛名、▷霧島▲、
 金剛▲、▷由良、▷名取、▷川内、▷迅鯨、
 羽黒、那智、北上、沖島
 梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、蕁▲、▷夕風、
 朝風、▷文月、水無月、▷若葉、初霜、
 子日、初春、▷山風、海風、江風、涼風、
 ▷疾風▲、追風▲、▷大潮、朝潮、滿潮、皐月、
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
 呂六一▲、呂六二▲、▷呂六三、呂六八、
 呂六五、▷呂六七、▷伊六一、伊六二、
 伊六四、▷伊六五、伊六六、伊六七、
 ▷千鳥、初雁、友鶴、真鶴
 敷島▲、鳴戸
 (夏雲)▲(伊七四)▲

【寺島水道】▷伊六三、伊五九、伊六〇

【長崎】(利根)▲

【鎮海】栲

【作業地】▷出雲、▷天龍、龍田、▷妙高、多摩、▷安宅、
 嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
 二見、▷木曾、▷長良、▷神威、白鷹、
 ▷足柄、嚴島、駒橋、▷球磨、▷能登呂、
 ▷加賀、龍驤
 栗、梅、蓮、▷雷、電、響、▷曉、狹霧、漣、
 ▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、夕月、望月、
 三月月、▷薄、菫、藤、▷蓼、菱、蓬、

【航海中】

▷島風、灘風、汐風、▷陸月、卯月、如月、
 彌生、峯風、▷葦、楡、長月
 ▷伊二一、伊二二、▷伊二三、伊二四
 ▷鶴、鴨、鴻、隼
 ▷掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
 ▷掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 ▷朝日、佐多、早鞆、室戸、野島、間宮、洲埼

襟裳 (十日佐世保發)

鶴見 (十日佐世保發)「マニラ」へ

隠戸 (十日徳山發)佐世保へ

(離令公報添)

改正

海軍公報 (部内限) 第二千八百九號

海軍大臣官房

昭和十三年一月十二日(水)

○令 達

官房機密第一三二號
臨時軍事費ヲ以テ直買シタル材料物品ニシテ海軍工廠
會計部材料庫ノ所掌ニ屬セシメタルモノノ中保管出納
上分任通常物品會計官吏ヲ置ク必要アルトキハ昭和八
年官房機密第九五二號ヲ準用スルコトヲ得
昭和十三年一月十二日
海軍大臣

○通 牒

軍普機密第一三七號 昭和十三年機密第二三一號
ニテ本號改正
昭和十二年十二月三十日
海軍軍事普及部委員長 野田 清
海軍軍事普及部臨時編制別表ノ通改正
(別表添)
昭和十三年官房機密第一三二號
別表添
(昭和十二年十二月十三日海軍公報(部内限)参照)

○辭 令

正四位勳三等 船津辰一郎
支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限勅任官待
遇トス(正明海軍省)

○雜 款

○正誤
本月八日通牒欄經契第三號ノ一九三二別紙品名欄中「海
軍航空機用四十六底デユラルミン材」ハ「海軍航空機
用四十五底デユラルミン材」ノ誤
昨十一日令達欄上段一行目「官房第一一六號」ハ「官
房機密第一一六號」ノ誤(濟)

海軍公報(部内限) 第二千八百九號 昭和十三年一月十二日

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「フ」指定ヲ要セズ

○一月十二日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、夕張、

鳳翔▲、▽八雲▲、高雄、山城、那珂、▽長門、

▽蒼龍、▽陸奥、▽五十鈴、▽島海、摩耶、

春日

▽夕立、五月雨▲、村雨、春雨、▽白露、

時雨、有明▲、夕暮▲、▽朧、曙、潮、▽天霧、

朝霧、夕霧

伊七▲、▽伊一▲、▽伊六▲

富士▲、尻矢、知床、膠州

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】▽太刀風、帆風、夕風、▽松風、春風、朝風、

旗風、沖風

呂五四▲、呂五五▲、呂五六▲、呂五七▲、

呂五九▲、呂五八▲、呂六六▲、伊二、伊三、

伊四、伊五

【石川島】

羽風▲

【浦賀】

秋風▲

(霞)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】▽波風、野風、神風、沼風

【函館】▽大泊▲

【吳】矢矧、韓崎、比叡▲、扶桑▲、伊勢▲、加古、

勝力、衣笠、青葉、長鯨▲、日向、鬼怒、

熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽大井、淀、

最上

夕顔、矢風、▽若竹、吳竹、早苗、▽菊、

葵、萩、▽初雪、白雪、吹雪、▽白雲、東雲、

薄雲、叢雲、▽浦波、磯波、敷波、綾波、

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、▽呂三四、

呂三三、▽伊五三、伊五四、▽伊五七、

伊五六、伊五八、▽伊七〇、伊六八、

伊六九、伊五五、

▽雉、雁、鳩、鷺

攝津

(千歳)▲(千代田)▲

【大阪】古鷹▲

(山雲)▲(峯雲)▲

【神戸】▽伊七二▲、伊七三▲、呂六四▲

(朝雲)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】常磐▲

石廊▲

【江田内】平戸、淺間

【舞鶴】吾妻▲

荒潮

伊五二▲

(蔽)▲

海軍公報(部内限) 第二千八百九號 昭和十三年一月十二日

【佐世保】

赤城▲、磐手▲、八重山、榛名、▽霧島▲、
 金剛▲、▽由良、▽名取、▽川内、▽迅鯨、
 羽黒、那智、北上、沖島
 梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、重▲、▽夕風、
 朝風、文月、水無月、▽若葉、初霜、子日、
 初春、▽山風、海風、江風、涼風、▽疾風▲、
 追風▲、▽大潮、朝潮、滿潮、皐月、峯風、
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
 呂六一▲、呂六二▲、▽呂六三、呂六八、
 呂六五、▽呂六七、▽伊六一、伊六二、
 伊六四、▽伊六五、伊六六、伊六七
 ▽千鳥、初雁、友鶴、真鶴
 敷島▲、鳴戸、隠戸
 (夏雲)▲(伊七四)▲

【寺島水道】▽伊六三、伊五九、伊六〇

【長崎】(利根)▲

【鎮海】▽葦、柿

【作業地】▽出雲、▽天龍、龍田、▽妙高、多摩、▽安宅、
 嵯峨、鳥羽、勢多、壱田、比良、保津、熱海、
 二見、▽木曾、▽長良、▽神威、白鷹、
 ▽足柄、嚴島、駒橋、▽球磨、▽能登呂、
 ▽加賀、龍驤
 栗、梅、蓮、▽雷、電、響、▽曉、狹霧、漣、
 ▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、夕月、望月、
 三日月、▽薄、葛、藤、▽蓼、菱、蓬、

【航海中】

襟裳 (十日佐世保發)
 鶴見 (十日佐世保發)「マニラ」へ

▽島風、灘風、汐風、▽陸月、卯月、如月、
 彌生、楡、▽長月
 ▽伊二一、伊二二、▽伊二三、伊二四
 ▽鶴、鴨、鴻、隼
 ▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
 ▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 ▽朝日、佐多、早鞆、室戸、野島、間宮、洲崎

(辭令公報添)

海軍軍事普及部臨時編制表

(昭和十三年二月十二日公報(部内限)別紙)

部 長	課 長	課ノ所掌主要事項	委員官姓	主 要 所 掌 事 項
野 野 野	第 一 課 (佐 大 崎 山)	(一) 大本營海軍部所掌以外ノ左記諸項 一、宣傳普及一般方針 一、新聞通信報道 一、言論機關ノ指導取締 (第二課ト聯合作業) 一、宣傳課報ノ防衛 (第二課ト聯合作業) 一、情報ノ蒐集 宣傳普及調査研究	細谷中佐 水野中佐 山口少佐 横山中佐 神中佐 間中佐 扇少佐	一、宣傳普及方針應酬要旨ニ關スルコト 一、言論機關ノ指導統制ニ關スルコト 一、新聞通信報道ニ關スルコト 一、宣傳普及及法ノ調査研究ニ關スルコト 一、宣傳課報防衛ニ關スルコト 外字新聞通信指導取締報道ニ關スルコト 一、邦字新聞通信ニ對スル指導取締報道ニ關スルコト 一、宣傳課報防衛方針ニ關スルコト 一、内外新聞通信指導取締報道ニ關スルコト 一、大臣官房トノ連絡ニ關スルコト 軍務局トノ連絡ニ關スルコト 内閣情報部トノ連絡ニ關スルコト 軍令部トノ連絡ニ關スルコト
少 田	第 二 課 (佐 大 田 原)	(一) 大本營海軍部所掌以外ノ左記諸項 一、宣傳普及ノ實施計畫 一、第一課所掌以外ノ報道宣傳普及(講演、放送、ニホルモ等) 一、出版物映畫放送等ノ檢閲 一、言論機關ノ指導取締 (第一課ト聯合作業) 一、宣傳課報ノ防衛 (第一課ト聯合作業) 宣傳普及及資料ノ作製 蒐集、整備、配布 (三) 庶務	水野中佐 山口少佐 松島中佐 前田中佐 高橋少佐 横山中佐 栗原中佐 楠田法務官 右以外ノ普及部委員	一、外字新聞通信雜誌ノ檢閲ニ關スルコト 一、對外宣傳資料ノ整備ニ關スルコト 一、檢閲方針ニ關スルコト 一、邦字新聞通信ノ檢閲ニ關スルコト 一、軍事關係映畫、寫真ノ指導取締檢閲ニ關スルコト 一、軍事關係映畫、寫真、關係資料ノ整備ニ關スルコト 一、軍事關係映畫、寫真、關係資料ノ作製ニ關スルコト 一、競技儀式ニ關スルコト 一、軍事講演ニ關スルコト 一、團體ノ指導ニ關スルコト 一、軍事關係演劇、演藝及音樂ノ指導取締ニ關スルコト 一、軍事關係博、展覽會ニ關スルコト 一、宣傳普及及資料(博、展覽會關係ヲ除ク)ノ整理保管配布ニ關スルコト 一、宣傳普及及資料(繪畫、ポスター圖表)ノ作製ニ關スルコト 一、宣傳普及ニ關スル統計報告ニ關スルコト 一、人事、豫算、機密圖書保管ニ關スルコト 一、庶務ニ關スルコト 檢閲一般ニ關スルコト 宣傳課報防衛及檢閲一般ニ關スルコト 宣傳課報防衛檢閲一般ニ關スルコト 特ニ命ゼラレタル事項

(備考) 囑託及屬員ノ配屬ハ別ニ定ム

海軍公報

(部内限) 第二千八百十號

昭和十三年一月十三日(木)

海軍大臣官房

○通牒

軍需第五號

昭和十三年一月十三日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長
舞鶴要港部軍需部長

艦營需品無線日誌供給ニ關スル件通牒

昭和十二年七月達第一〇六號ヲ以テ改正相成候首題ノ件ニ關シ從來品ハ在庫限リ供給ノコトニ示達セラレ居リ候處爾今改正品ノミヲ供給スルコトト了知相成度追テ從來品ハ適宜廢却ノコトニ取計相成度

航本機密第一四一號

昭和十三年一月十三日

海軍航空本部總務部長

佐世保、廣海軍工廠長
海軍航空廠長

航空兵器修理材料供給ノ件通牒

海軍公報(部内限) 第二千八百十號

昭和十三年一月十三日

三三

首題材料線上供給ニ關シテハ昭和十二年度所定年額ノ三分ノ一以內ノ標準ニテ艦側ノ要求ヲ俟テ供給方取計相成度

追テ本材料供給ニ要スル豫算ハ航空兵器修理材料費増額(昭和十三年度航空兵器修理材料費ヲ夫レ丈減額)方可取計ニ付供給濟ノ上ハ艦名及金額通知相成度

○辭令

(各通)

平岡 小太郎
鈴木 格三郎
村地 卓爾
田邊 郁太郎
海軍省事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス(海軍省)

海軍少佐 青木 武
第二課勤務ヲ命ス(海軍省人事局)

○雜款

○郵便物發送先

第二艦隊司令部、軍艦烏海、摩耶、第七戰隊司令部、
 軍艦熊野、鈴谷、三隈、第二水雷戰隊司令部、軍艦
 神通、第七驅逐隊(曙、朧、潮)、第八驅逐隊(天霧、
 朝霧、夕霧)、第十二驅逐隊(叢雲、東雲、薄雲、白
 雲)、第二潛水戰隊司令部、軍艦五十鈴、第十二潛
 水隊(伊六八、伊六九、伊七〇)、第二十八潛水隊
 (伊五九、伊六〇、伊六三)、第二十九潛水隊(伊六
 一、伊六二、伊六四)宛

一月十八日迄ニ到達見込ノモノハ 各所屬軍港
 二月六日迄ニ同 大分縣佐伯
 同 十一月迄ニ同 鹿兒島縣鹿兒島
 同 二十八日迄ニ同 志布志
 三月五日迄ニ同 大分縣別府
 同 十九日迄ニ同 高知縣宿毛
 四月八日迄ニ同 佐世保
 同 十九日迄ニ同 臺灣高雄
 五月十八日迄ニ同 高知縣宿毛
 其ノ後ハ 各所屬軍港
 第二航空戰隊司令部、軍艦蒼龍宛
 一月三十一日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀
 其ノ後ハ 第二艦隊司令部ニ同シ

第三十九驅逐隊(追風、疾風)宛
 一月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保

其ノ後ハ 第二艦隊司令部ニ同シ
 左記ニ依リ假設無線電信所及文書交換所ヲ設置ス同
 期間電報ニハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ

自一月二十七日 大分縣佐伯
 至二月二十七日
 自二月二十八日 鹿兒島縣鹿兒島
 至三月十一日
 自三月十二日 鹿兒島縣志布志
 至三月二十三日
 自三月二十八日 大分縣別府
 至四月五日
 自四月七日 高知縣宿毛
 至四月十九日
 自四月十六日 臺灣高雄
 至四月十九日
 自五月十八日 高知縣宿毛
 至五月二十四日

○ 艦船所在

指定印ハ「ハ」ホ「」

○二月十三日午前十時調

【横須賀】

對馬、愛宕、阿武隈、大鯨、夕張、

鳳翔、八雲、高雄、山城、那珂、長門、

陸奥、鳥海、摩耶、五十鈴、春日、

蒼龍

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、

有明、夕暮、隴、曙、潮、天霧、朝霧、

夕霧

伊七、伊一、伊六

富士、尻矢、膠州

(飛龍)(劍埼)(高崎)

【長浦】太刀風、帆風、夕風、松風、春風、朝風、

旗風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、

呂五九、呂五八、呂六六、伊二、伊三、

伊四、伊五

【石川島】

羽風

【浦賀】

秋風

(霞)

【館山】

澤風

【大湊】

波風、野風、神風、沼風

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、比叡、扶桑、伊勢、加古、

勝利、衣笠、青葉、長鯨、日向、鬼怒、

熊野、三隈、鈴谷、神通、大井、淀、

最上

夕顔、矢風、若竹、吳竹、早苗、菊、

葵、萩、初雪、白雪、吹雪、白雲、東雲、

薄雲、叢雲、浦波、磯波、敷波、綾波、

呂五一、呂五三、呂三六、呂二七、

呂二八、伊五一、伊七一、呂三四、

呂三三、伊五三、伊五四、伊五七、

伊五六、伊五八、伊七〇、伊六八、

伊六九、伊五五

伊雄、雁、鳩、鷺

攝津

(千歲)(千代田)

【大阪】

古鷹

(山雲)(峯雲)

【神戸】伊七二、伊七三、呂六四

(朝雲)(伊八)(伊七五)

【相生】

常磐

石廊

【江田内】

平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻

伊五二

(叢)

海軍公報(部内限) 第二千八百十號 昭和十三年一月十三日

【佐世保】

赤城、磐手、八重山、榛名、霧島、
 金剛、山良、名取、川内、迅鯨、
 羽黒、那智、北上
 梨、竹、榎、桃、柳、檜、葦、夕風、
 朝風、文月、水無月、若葉、初霜、子日、
 初春、山風、海風、江風、涼風、疾風、
 追風、大潮、朝潮、滿潮、皐月、峯風、
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
 呂六一、呂六二、呂六三、呂六八、
 呂六五、呂六七、伊六一、伊五九、
 伊六〇、伊六一、伊六二、伊六四、
 伊六五、伊六六、伊六七
 千鳥、初雁、友鶴、真鶴
 敷島
 (夏雲)(伊七四)
 (利根)

【長崎】

【鎮海】

【作業地】

出雲、天龍、龍田、妙高、多摩、安宅、
 嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
 二見、木曾、長良、神威、白鷹、
 足柄、沖島、嚴島、駒橋、球磨、能登呂、
 加賀、龍驤
 栗、梅、蓮、雷、電、響、曉、狹霧、漣、
 芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、
 三日月、薄、葛、藤、蓼、菱、蓬、

【航海中】

島風、灘風、汐風、睦月、卯月、如月、
 彌生、楡、長月
 伊二一、伊二三、伊二四、伊二二、伊二四
 鶴、鴨、鴻、隼
 掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
 掃一六、掃二三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 朝日、佐多、早鞆、室戸、野島、間宮、洲埼、
 鳴戸、襟裳
 鶴見 (十日佐世保發「マニラ」)
 荒潮 (十二日舞鶴發「佐世保」)
 隠戸 (十二日佐世保發「鹿川」)
 知床 (十二日横須賀發「吳」)

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千八百十一號

昭和十三年一月十四日(金)

海軍大臣官房

○ 通 牒

航本機密第一五七號

昭和十三年一月十四日

海軍航空本部長

關係各廳長殿

航空發動機用發火栓ニ關スル件通牒中

訂正ノ件通知

昭和十二年航本機密第三九三五號首題通牒本文中「昭和十一年五月三十一日附」ヲ「昭和十年五月三十一日附」ニ、充當表中「光發動機一、二型」ヲ「光發動機一、二、三型」ニ訂正ス

(昭和十二年十二月二十四日本欄参照)

○ 辭 令

海軍豫備中尉 林 二三男

(各通)

海軍豫備少尉 三井晴太郎

同 杉山 彌六

第三艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス(海軍省)

海軍少佐 青木 武

海軍武功調査委員ヲ命ス(同)

松本 重治

堀口 瑞典

宮崎 議平

伊藤 武雄

二見 甚卿

卜部 卓治

山本 武夫

吉田 政治

橋本 辨次郎

第三艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇ス

松本利一郎

(各通)

正六位勳四等

勳六等

海軍公報(部内限) 第二千八百十一號 昭和十三年一月十四日

三七

(各通)

西澤 政次郎
庄司 得二

第三艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇ト
ス(以上十一月同)

海軍兵曹長 木村 秀次郎

第三課勤務兼副官附ヲ命ス(前水路部)

軍令部出仕海軍少佐 柴 勝 男

第一部勤務ヲ命ス(前軍令部)

○ 雜 款

~~○ 旗艦變更
第三戰隊司令官ハ十一月十五日加艦ヲ露島ヨリ金剛ニ變
更セリ~~

○ 司令驅逐艦變更

第二十二驅逐隊司令ハ十一月十三日司令驅逐艦ヲ長月ヨ
リ女月ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

第一港務部宛

佐世保郵便局氣付

追テ「特務艦朝日氣付」ト記入セザルコト

○艦船所在

指▲印ハ「ハホ」ヲ
定テヲ要セズ

○一月十四日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、夕張、

鳳翔▲、▽八雲▲、高雄、山城、那珂、▽長門、

▽陸奥、▽島海、摩耶、▽五十鈴、春日、

▽蒼龍

▽夕立、五月雨、村雨、春雨、▽白露、時雨、

有明、夕暮▲、▽朧、曙、潮、▽天霧、朝霧、

夕霧

伊七▲、▽伊二▲、▽伊六▲

富士▲、尻矢、膠州

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】▽太刀風、夕風、▽松風、春風、朝風、旗風、

沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八、呂六六、伊二、伊三、

伊四、伊五

【石川島】

羽風▲

【浦賀】

秋風▲

(霞)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】▽波風、野風、神風、沼風

【函館】

大泊

【吳】 矢矧、韓崎、比叡▲、扶桑▲、伊勢▲、加古、

勝力、衣笠、青葉、長鯨▲、日向、鬼怒、

最上

▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽大井、淀

夕顔、矢風、▽若竹、吳竹、早苗、▽菊

葵、萩、▽初雪、白雪、吹雪、▽白雲、東雲、

薄雲、叢雲、▽浦波、磯波、敷波、綾波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、▽呂三四、

呂三三、▽伊五三、伊五四、▽伊五七、

伊五六、伊五八、▽伊七〇、伊六八、

伊六九、伊五五

▽雄、雁、鳩、鷺

攝津

(千歳)▲(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

(山雲)▲(峯雲)▲

【神戸】▽伊七二▲、伊七三▲、呂六四▲

(朝雲)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

石廊▲

【江田内】

平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻▲

伊五二▲

(菝)▲

海軍公報(部内限)第二千八百一十一號 昭和十三年一月十四日

【佐世保】

赤城▲、磐手▲、八重山、榛名、霧島▲、▷名取、
▷川内、▷迅鯨、羽黒、那智、北上

梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、葦▲、▷夕風、
朝風、▷文月、長月、水無月、▷若葉、初霜、
子日、初春、▷山風、海風、江風、涼風、
▷疾風▲、追風▲、▷大潮、朝潮、滿潮、荒潮、
皐月、峯風

▷呂三〇▲、▷呂三一▲、▷呂三二▲、▷呂六〇▲、
▷呂六一▲、▷呂六二▲、▷呂六三▲、▷呂六八、
▷呂六五、▷呂六七、▷伊六三、▷伊五九、
▷伊六〇、▷伊六一、▷伊六二、▷伊六四、
▷伊六五、▷伊六六、▷伊六七

▷千鳥、初雁、友鶴、真鶴

敷島▲

(夏雲)▲(伊七四)▲

【寺島水道】▷由良

【長崎】(利根)▲

【鎮海】▷葦、柿

【作業地】▷出雲、▷天龍、龍田、▷妙高、多摩、▷安宅、
嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
二見、▷木曾、▷長良、▷神威、白鷹、
▷足柄、沖島、嚴島、駒橋、▷球磨、▷能登呂、
▷加賀、龍驤

▷栗、梅、蓮、▷雷、電、響、▷颯、萩、漣、
▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、夕月、望月、

三日月、▷薄、葛、藤、▷蓼、菱、蓬、
▷島風、灘風、沙風、▷陸月、卯月、如月、
彌生、楡

▷伊二一、▷伊二二、▷伊二三、▷伊二四

▷鶴、鴨、鴻、隼

▷掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
▷掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八

▷朝日、佐多、早鞆、室戸、野島、間宮、洲崎、
鳴戸、襟裳

【航海中】

鶴見 (十日佐世保發)「マニラ」へ)

隠戸 (十二日佐世保發)鹿川へ)

知床 (十二日横須賀發)吳へ)

▷金剛 (十三日佐世保發)港外へ)

帆風 (十四日長浦發)下田へ)

1398

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千八百十二號

昭和十三年一月十五日(土)

海軍大臣官房

○通牒

經契第三號ノ二七

昭和十三年一月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

復水器用アルブラック管單價協定ノ件通知

昭和十年四月一日附經契第三號ノ五二三通知首題ニ關
スル追書ノ件左記ノ通

記

一、期間

自昭和十三年一月一日
至昭和十三年三月三十一日

一、價格

外經一六耗 厚一・二耗ノモノ
一庇ニ付 金一圓九十一錢

外經一〇耗 厚一・〇耗ノモノ
一庇ニ付 金二圓〇五錢

外經一〇耗 厚一・〇耗ノモノ
一庇ニ付 金二圓〇五錢

其ノ他從前通

經契第三號ノ二八

昭和十三年一月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

復水器用アルミプラス管單價協定ノ件通知

昭和十二年四月一日附經契第三號ノ五八一通知首題ニ
關スル追書ノ件左記ノ通

記

一、期間

自昭和十三年一月一日
至昭和十三年三月三十一日

一、價格

外經一六耗 厚一・二耗 長五米以下ノモノ
一庇ニ付 金一圓九十一錢

其ノ他從前通

○雜款

海軍公報(部内限) 第二千八百十二號 昭和十三年一月十五日

○軍艦春日行動豫定

地名	着	發
横須賀	一月二十四日	一月二十日
別府	二月二十八日	二月二十六日
横須賀	二月三日	二月一日
徳山	二月六日	二月五日
大坂	二月九日	二月八日
横須賀		二月九日

○郵便物發送先

軍艦春日宛

一月十九日迄	到達見込ノモノハ	横須賀
同 二十五日迄	同	別府
同 三十一日迄	同	横須賀
二月 四日迄	同	徳山
同 七日迄	同	大坂
其ノ後ハ		横須賀

○本日普通公報發行セズ

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○一月十五日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、夕張、

鳳翔▲、▷八雲▲、高雄、山城、▷長門、

陸奥、那珂、口島海、摩耶、▷五十鈴、春日

夕立、五月雨、村雨、春雨、▷白露、時雨、

有明夕暮▲、▷龍、曙、潮、▷天霧、朝霧、

夕霧

伊七▲、▷伊六▲

富士▲、尻矢、膠州▲

飛龍▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】▷太刀風、夕風、▷松風、春風、朝風、旗風、

沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八、呂五六、▷伊一、伊二、

伊三、伊四、伊五

【石川島】羽風▲

【浦賀】秋風▲

(霞)▲

【館山】▷蒼龍

澤風▲

【下田】帆風

【大湊】▷波風、野風、神風、沼風

【函館】大泊

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、扶桑▲、伊勢▲、加古、

勝力、衣笠、青葉、長鯨▲、日向、鬼怒、

▷熊野、三隈、鈴谷、▷神通、▷大井、淀、最上

夕顔、矢風、▷若竹、吳竹、早苗、▷菊

葵、秋、▷初雪、白雪、吹雪、▷白雲、東雲、

薄雲、叢雲、▷浦波、磯波、敷波、綾波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、▷呂三四、

呂三三、▷伊五三、伊五四、▷伊五七、

伊五六、伊五八、▷伊七〇、伊六八、

伊六九、伊五五

▷雄、雁、鳩、鷲

攝津

(千歲)▲、(千代田)▲

【大阪】古鷹▲

(山雲)▲、(峯雲)▲

【神戸】▷伊七二▲、伊七三▲、呂六四▲

(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】常磐▲

石廊▲

【江田内】平戸、淺間

【鹿川】隱戸

【舞鶴】吾妻▲

伊五二▲

(霞)▲

海軍公報(部内限) 第二千八百十二號

昭和十三年一月十五日

四三

【佐世保】

赤城▲磐手▲八重山、榛名、霧島▲金剛、
山良、川内、迅鯨、羽黒、那智、北上、
名取

梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲董▲夕風、
朝風、若葉、初霜、子日、初春、山風、
海風、江風、涼風、疾風▲追風▲大潮、
朝潮、滿潮、荒潮、皐月、峯風、文月、長月
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六八、
呂六五、呂六七、伊六三、伊五九、
伊六〇、伊六一、伊六二、伊六四、
伊六五、伊六六、伊六七、
千鳥、初雁、友鶴、真鶴
敷島▲
夏雲▲(伊七四)▲

【長崎】

【馬公】襟裳

【鎮海】葦、柿

【作業地】出雲、天龍、龍田、妙高、多摩、安宅、
嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
二見、木曾、長良、神威、白鷹、
足柄、沖島、殿島、駒橋、球磨、能登呂、
加賀、龍巖
栗、梅、蓮、雷、電、響、曉、狹霧、漣、
芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、

【航海中】

鶴見 十日佐世保發上「マニラ」へ、
知床 十二日横須賀發一吳へ

三日月、薄、葛、藤、蓼、菱、蓬、
島風、灘風、沙風、睦月、卯月、如月、
彌生、楡、水無月
伊二一、伊二二、伊二三、伊二四
鶴、鴨、鴻、隼
掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
朝日、佐多、早鞆、室戸、野島、間宮、洲崎、
鳴戸

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千八百十三號

昭和十三年一月十七日(月)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第一九二號

昭和十三年一月十五日

海 軍 大 臣

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件中改正ノ件訓令

昭和十二年官房機密第四九三八號別表中左ノ通改正ス

海軍砲術學校乃至海軍航海學校ノ部中「帆風」ヲ「山雲」ニ改ム

(昭和十二年十二月二日公報(部内限)参照)

○ 通 牒

經契第三號ノ二六

昭和十三年一月一日

海軍省經理局長

海軍公報(部内限) 第二千八百十三號

昭和十三年一月十七日

四五

内令提
要登載

關係各廳長殿

諸管類購買合併契約更改ノ件通知

昭和十二年七月一日經契第三號ノ一〇二三及同年十月一日經契第三號ノ一五三八通牒首題契約中左記ノ通更改致候條御了知相成度

記

更改契約書

昭和十二年七月一日竝ニ同年十月一日附海軍省經理局長村上春一ト住友金屬工業株式會社、古河電氣工業株式會社、湯淺伸銅株式會社トノ間ニ契約締結セル銅管類供給契約ニ關スル契約書中更改スルコト左ノ如シ
第一條ノ價格表ヲ別紙ノ通更改ス
右更改契約ヲ證スル爲メ本書ニ通ヲ作り各自記名調印シテ各共ノ一通ヲ保有スルモノナリ

昭和十三年一月一日

海軍省經理局長 村上 春 一

住友金屬工業株式會社

古河電氣工業株式會社
湯淺 伸銅株式會社

更改契約書

昭和十二年七月一日並ニ同年十月一日附海軍省經理局長村上春一ト株式會社神戸製鋼所取締役社長田宮嘉右衛門トノ間ニ契約締結セル銅及黃銅管類供給契約ニ關スル契約書中更改スルコト左ノ如シ
第一條ノ價格表ヲ別紙ノ通更改ス
右更改契約ヲ證スル爲メ本書二通ヲ作り各自記名調印シテ各其ノ一通ヲ保有スルモノナリ

昭和十三年一月一日

海軍省經理局長 村上春一
神戸市葺合區脇濱町一ノ三一
株式會社神戸製鋼所
取締役社長 田宮嘉右衛門

(別紙ハ所要ノ向ニ之ヲ配布ス)

艦本機密第五六六號

昭和十三年一月十五日

海軍省軍務局長
海軍艦政本部長

各鎮守府
舞鶴要港部 參謀長
聯合艦隊 支那方面艦隊 股
各海軍軍需部長
舞鶴要港部軍需部長

三八式小銃空包ノ件照會(砲術長主管)

首題兵器ニ關シテハ極力新製品ノ納入ヲ促進シツツアル處事變ノ關係上概ネ五月頃迄ハ製造意ノ如クナラザルヲ以テ差當リ軍需部現在庫品ノミヲ充當スルコト、可相成從テ各艦、團、部隊、學校ニ對スル供給ニ不足ヲ來スベキニ付訓練ニ對スル之ガ使用ヲ必要最少限ニ節約セシムルコトニ取計相成度

○ 辭 令

(各通) 舞鶴海軍工廠勤務海軍技手 時岡 幸吉
舞鶴海軍工廠附同 神原 六藏
朝日工作部附ヲ命ス(附海軍省) 海軍技術會議議員海軍大佐 岡 敬 純
海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス
海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス
海軍大學校附海軍書記 丸岡 克己

支那方面艦隊司令部附ヲ命ス

水路部附兼朝日乗組海軍技手 矢崎 忠藏

兼朝日乗組ヲ免ス(以上十五同)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

第十二戰隊宛

自 今

第四艦隊司令部(軍艦足柄)

○ 懲罰

懲罰言渡書

海軍公報(部内限) 第二千八百十三號 昭和十三年二月十七日

四七

1405

海軍公報(部内限) 第二千八百十三號 昭和十三年一月十七日

四八

○ 艦船所在

▲印 ▲ハ ▲ホ ▲フ
指定ヲ要セズ

○一月十七日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、阿武隈▲、大鯨▲、夕張、
鳳翔▲、▽八雲▲、高雄、山城、▽長門、
那珂、▽島海、摩耶、▽五十鈴、▽蒼龍、春日、
▽夕立、五月雨、村雨、春雨、▽白露、時雨、
有明夕暮▲、▽隴、曙、潮、▽天霧、朝霧、
夕霧

伊七▲、▽伊六▲

富士▲、尻矢、膠州▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

▽太刀風、帆風、夕風、▽松風、春風、朝風、
旗風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八、呂六六、▽伊一、伊二、
伊三、伊四、伊五

石川島

羽風▲

浦賀

秋風▲

(霞)▲

館山

澤風▲

鳥羽

山雲

大湊

▽波風、野風、神風、沼風

函館

大泊

吳

矢矧、韓崎、比叡▲、扶桑▲、伊勢▲、加古、

勝力、衣笠、青葉、長鯨▲、鬼怒、▽熊野、
三隈、鈴谷、▽神通、▽大井、澁

夕顔、矢風、▽若竹、吳竹、早苗、▽菊、
葵、萩、▽初雪、白雪、吹雪、▽白雲、東雲、
薄雲、叢雲、▽浦波、磯波、敷波、綾波

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲、
呂二八、伊五一▲、伊七一▲、▽呂三四、
呂三三、▽伊五三、伊五四、▽伊五七、
伊五六、伊五八、▽伊七〇、伊六八、
伊六九

▽雄、雁、鳩、鷺

攝津

(千歳)▲(千代田)▲

大阪

古鷹▲

(峯雲)▲

神戸

▽伊七二▲、伊七三▲、呂六四▲

(朝雲)▲(伊八)▲(伊七五)▲

相生

常磐▲

石廊▲

江田内

平戸、淺間

鹿川

隱戸

別府

最上

舞鶴

吾妻▲

伊五二▲

(霞)▲

海軍公報(部内限) 第二千八百十三號 昭和十三年一月十七日

【佐世保】

赤城▲磐手▲八重山、榛名、▽霧島、金剛、
▽山良、▽川内、▽迅鯨、羽黒、那智、北上、
▽名取

梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲董▲▽夕風、
朝風、▽若葉、初霜、子日、初春、▽山風、
海風、江風、涼風、▽疾風▲追風▲▽大潮、
朝潮、滿潮、荒潮、皐月、峯風、▽文月、長月、
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
呂六一▲、呂六二▲、▽呂六三、呂六八、
呂六五、▽呂六七、▽伊六三、伊五九、
伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、
伊六五、伊六六、伊六七、
▽千鳥、初雁、友鶴、真鶴、
敷島▲

(夏雲)▲(伊七四)▲

【長崎】

(利根)▲

【鎮海】

▽葦、柿

【作業地】▽山雲、▽天龍、龍田、▽妙高、多摩、▽安宅、
嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、
二見、▽木曾、▽長良、▽神威、白鷹、
▽足柄、沖島、嚴島、駒橋、▽球磨、▽能登呂、
▽加賀、龍驤、
栗、梅、蓮、▽雷、電、響、▽曉、狹霧、漣、
▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、夕月、望月、
三日月、▽薄、菖、藤、▽蓼、菱、蓬、

【新嘉坡】

【航海中】

鶴見 (十日佐世保發)「マニラ」()
日向 (十五日吳發)伊豫灘()
陸奥 (十六日横須賀發)東京灣()
伊五五 (十六日吳發)作業地()
知床 (十六日吳發)佐世保()

▽島風、灘風、汐風、▽陸月、卯月、如月、
彌生、楡、水無月
▽伊二一、伊二三、▽伊二三、伊二四
▽鶴、鴨、鴻、隼
▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
▽掃二六、掃二三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
▽朝日、早鞆、室戸、野島、間宮、洲崎、鳴戸、
襟裳
佐多

(號外五頁、辭令公報添)